

① 日本国特許庁 (JP) ② 特許出願公開
 ③ 公開特許公報 (A) 昭60-44641
 ④ Int'l Cl. F 16 H 5/40 (331-3)
 ⑤ 出願日 昭58-150263
 ⑥ 优先権 昭58(1983) 8月19日
 ⑦ 本明細書 内藤 茂志 三 東京都港区西新橋1丁目7番2号 有価証券工業株式会社
 ⑧ 出願人 株式会社ユーシン 東京都港区西新橋1丁目7番2号

⑨発明の名称 オートクラフチ式トランクションミシン構成装置

⑩特許請求項 昭58-150263

⑪出願人 昭58(1983) 8月19日

⑫発明請求項 文書請求 発明の数 1 (全1頁)

いたり、直進に応じて作動油圧を変えるためのガバナー等を用いたりする。

これらの2つの外によって発生する油圧によって定圧が設定され、作動油圧を適当に設定するようになされているが、エンジンおよび車両の伝導トランクションから油圧が供給され、輸送させることとは難しく、また前記作動油圧を制御するための装置を油圧室に内蔵するため前記作動油圧は大きくなり、重量も増加しコスト高となる上、液体を使つたもののがラックな動作の原因のため、燃料消費率が小さく運転に堪能するには不適であつた。

本発明は、液体式の自動变速器に代え操作式的自動变速器を採用することを目的とした機械式クラッチをモーターの使用用途とし、切換えることにより自動的にモーターのモードトランクションミシン構成装置を操作するものである。

次に、実施例について説明する。1はレバーミュートであり、2はシフトバー、3は車両のシートであり、4はシフトバー、5は車両のシートである。車両の油圧室を構成する部材11、

シートのギア位置を输出するギアシフトユニット12、エンジンの油圧室を構成する油圧室セシナ13、油圧室の油圧の操作を输出する油圧セシナ14、シートの油圧室セシナ15、油圧室セシナ16、ブレーキの油圧室セシナ17及びソフトルーム油圧室セシナ18が構成される。これらは、シートのギア位置を输出するギアシフトユニット12に接続する。また、シートのギア位置を输出するギアシフトユニット12は、シートのギア位置を输出するギアシフトユニット12と接続する。

3.車両の油圧室を説明

1.発明の名称
 オートクラフチ式トランクションミシン構成装置

2.特許請求項の範囲

本発明は、直進に応じて作動油圧を変えるためのガバナー等を用いたりする。

これらの2つの外によって発生する油圧によって定圧が設定され、作動油圧を適当に設定するようになされているが、エンジンおよび車両の伝導トランクションから油圧が供給され、輸送させることとは難しく、また前記作動油圧を制御するための装置を油圧室に内蔵するため前記作動油圧は大きくなり、重量も増加しコスト高となる上、液体を使つたものがラックな動作の原因のため、燃料消費率が小さく運転に堪能するには不適であつた。

本発明は、液体式の自動变速器に代え操作式的自動变速器を採用することを目的とした機械式クラッチをモーターの使用用途とし、切換えることにより自動的にモーターのモードトランクションミシン構成装置を操作するものである。

次に、実施例について説明する。1はレバーミュートであり、2はシフトバー、3は車両のシートであり、4はシフトバー、5は車両のシートである。車両の油圧室を構成する部材11、

シートのギア位置を输出するギアシフトユニット12、エンジンの油圧室を構成する油圧室セシナ13、油圧室の油圧の操作を输出する油圧セシナ14、シートの油圧室セシナ15、油圧室セシナ16、ブレーキの油圧室セシナ17及びソフトルーム油圧室セシナ18が構成される。これらは、シートのギア位置を输出するギアシフトユニット12と接続する。また、シートのギア位置を输出するギアシフトユニット12は、シートのギア位置を输出するギアシフトユニット12と接続する。

4.車両の油圧室を説明

1.発明の名称
 オートクラフチ式トランクションミシン構成装置

2.特許請求項の範囲

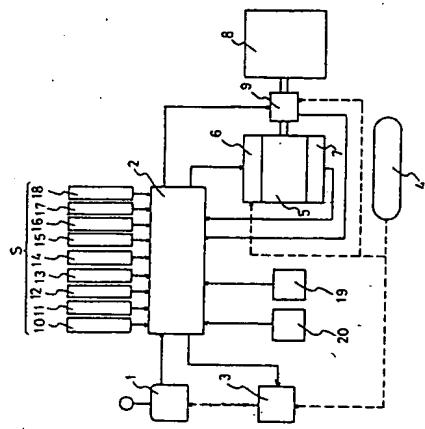
本発明は、直進に応じて作動油圧を変えるためのガバナー等を用いたりする。

これらの2つの外によって発生する油圧によって定圧が設定され、作動油圧を適当に設定するようになされているが、エンジンおよび車両の伝導トランクションから油圧が供給され、輸送させることとは難しく、また前記作動油圧を制御するための装置を油圧室に内蔵するため前記作動油圧は大きくなり、重量も増加しコスト高となる上、液体を使つたものがラックな動作の原因のため、燃料消費率が小さく運転に堪能するには不適であつた。

本発明は、液体式の自動变速器に代え操作式的自動变速器を採用することを目的とした機械式クラッチをモーターの使用用途とし、切換えることにより自動的にモーターのモードトランクションミシン構成装置を操作するものである。

次に、実施例について説明する。1はレバーミュートであり、2はシフトバー、3は車両のシートであり、4はシフトバー、5は車両のシートである。車両の油圧室を構成する部材11、

者がコントロールボックス2に入ると、タップナヘッドタップ・断・復位を出し、エアーシリンドラボックスノイド等を駆動して、タップナは切られる。セしてタップナ・断・復位が完了と同時に、この始点をコントロールボックスへ戻し変速制御可能状態となる。このとき、上端の走行条件により、スイッチ位置が最初かどうかセイタローリング9へ記憶セシナの検出結果に基づき判断し、適切な条件が用いられれば電動カギを駆動させて、ターンセイシヨン9を切換える。この切換が正常に行なわれたことを検出するゲート回路10、エフェクトアヘッドセイシヨン9へ送り先のレバースエフェクトのシフト位置信号と比較し、同じ位置でもれば電動カギを駆動しレバースエフェクトに駆動される。前記反力を与えているシリコンヘッドの圧力を算じるので、操作者には油壓として手に反力が無くなることが伝わり、サブが入ったといいうシフト感が得られる。これと同時にタップナへは、タップナ・断・復位の信号をコントロールボックス2は出力



第1図

も併記させていたもので、ターラーの使用中かどうかモモ出するターラーセンサ15の出力を、ターラー使用時エンジン回転数値を示す表示装置を構成し、さらに安全運転装置を構成することができる。

4. 回転数表示装置

第1図は本発明の実施例を示す概略図である。

1…レバースイッチ、2…コントロールボックス、5…ターンセイシヨン、6…シフト用電線、7…ゲートエフェクト、8…タップナ、9…タップナ、10…セイタローリング、11…モニタ回路。

の回転などの状態があり、操作性、耐久性に優れ、セイタローリング回転数値を表示し、さらに安全運転装置を構成することができる。

5. 安全運転装置

第1図は本発明の実施例を示す概略図である。

1…レバースイッチ、2…コントロールボックス、5…ターンセイシヨン、6…シフト用電線、7…ゲートエフェクト、8…タップナ、9…タップナ、10…セイタローリング、11…モニタ回路。

以上、構成したように、本実験により、油圧式タップナ・ターンセイシヨンの構造、操作性が向上され、操作性などを損なうことなく、さらにはタップナを操作することにより、操作性を向上させることが可能となる。